



令和7年度 10月号

蕨市中央6-8-25

Tel 442-2672

学級数	13
児童数	380名

## 当たり前、自然にできる素晴らしさ

校長 板橋 利行

少しずつ気温が下がってきて、朝晩の空気に秋の気配を感じます。暑さ寒さも彼岸までと言われますが、温暖化の影響はあるにせよ、自然のサイクルはすごいことだと思います。

### 学校朝会で話したこと

先週の学校朝会では、「学校に来るお客様の話」について話しました。学校には、保護者やおうちの方以外の大人＝様々なお客様が来ています。もちろんこのことは子供たちも知っていますが、特に授業を見に来て大人は誰なのか、何の目的で来ているのかについて、よく知らないのだろうと思い、話題にしました。

教室に入っていくのは、主に教育委員会の方や学校運営協議会委員の皆さんなどになりますが、学校生活の様子、授業や行事の様子、また、先生たちの様子、それから校舎などの施設や掲示物などを見ていることを伝えました。

何のために見に来るのかについては、子供たちも少し考えてもらいました。急にふらっと来ているわけではなく、学校外の方の意見がとても参考になるため、学校の様子を実際に見ていただいて、「よりよい学校になるためのアドバイスをお願いしている」ということを伝えました。

さらに、先の二者に加え、他の学校の先生方や地域の方、ゲストティーチャーの方、業者の方など、多くのお客様が、同じことを言って帰られること、それが2つあることについて触れました。

1つ目は、「落ち着いて授業を受けている」ということです。当たり前でできていることが素晴らしいと褒めてくださるのです。授業によく集中して、考えたり、発表したり、話し合ったりといった学習活動がしっかりとできていて、その毎日の積み重ねの結果とし

て、学力が身に付いているのだと話しました。これは、先生たちの指導の成果でもあります。

もう1つは、「あいさつがよくできる」ということです。校舎内ですれ違う時などに、自然とできているところがとても素晴らしいとほめてもらえています。これは、学校と家庭の成果であると思います。

この、当たり前で自然とできるということは、正に身に付けた力であると考えます。子供たちは、毎日の多くの時間を学校で過ごしますが、その中では、友達とのトラブルや失敗もあるでしょう。一方、褒められたり、認められたりすることも多いはずで、これら様々な経験をしながら学び、成長しています。保護者の皆様には、今後もぜひ学校と同じベクトルで子供たちの成長を支えていただけますようお願いいたします。

### 楽しい運動会に

先月後半から運動会の練習が始まっています。運動会は、体育の授業や体育的活動で高めてきた技能を発揮する場であり、学級の団結を高めるとともに、紅白での縦割り活動としての位置付けもあります。さらに、保護者や家族の応援があることもわかっていますから、子供たちにとっては特別感が高い行事なのだと思います。

学年ブロックでの表現運動の様子や、朝の時間に応援団で手分けをして、下級生に教えている姿を見ていると、とても頼もしく思います。昼休みには太鼓の音も響いています。高学年の係活動も行事の成功に欠かせません。しっかりと取り組んでいる子供たちの活躍がとても楽しみです。保護者の皆様も練習の様子をお子様から聞きつつ当日を迎えていただき、子供たちの頑張っている姿をご家族で応援していただきたいと思います。